

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	2MF-2201
研究課題名	気候変動の暑熱リスクに対する学校建築の緩和と適応のシナジー
研究実施期間	2022年度～2024年度
研究代表機関名	信州大学
研究代表者名	中谷 岳史

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

多くの学校関係者からのヒアリングとアンケート調査により、その実態を把握し、学校建築の改修や建替えへの説得力のある具体的な提案を示すなど、学校建築の冷暖房・断熱改修に関する素晴らしい研究成果が出ていると評価する。特に高度成長期に建造された学校建築物の改修が迫っている中、この研究は時宜を得たものであり、省エネ基準の見直しにつながる知見の獲得や、基礎自治体の校舎断熱改修に伴う行政との共同事業の実施など具体的な展開につなげてあり、政策的な意義は高い。今後は自治体・学校等の関係者が利用できる支援システムの開発を引き続き進めてもらいたい。また、得られた知見を、自治体における学校施設の環境対策の施策作りへ反映する努力もお願いしたい。本課題の全体的な目的に対してはサブ3で得られた知見が学術的な基盤となるが、それが学術論文として公表されておらず学会発表も限局的なので、今後の発信を期待する。